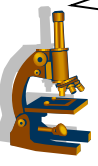


目標													
期	月	週	単元	小単元・項目	時数	主な目標	重要観点	学習ポイント	指導形態・準備物	評価方法			
前期	4	1	序章	◇ガイダンス ◇身近な自然に目を向けてみよう ・観察のしかたを身につけよう ・水の中の小さな生物を調べよう	1 6	校内の生物を観察し、生活場所の違いを考察(こうさつ)しながら、観察器具の操作、観察記録の仕方を身に付ける。	① ② ③	日常の中の自然に興味をもとう。 普段、見かける生物を意識してみよう。興味をもって観察し、観察器具を使えるようになろう。	野草など ルーペ 顕微鏡	中間テスト 期末テスト 提出物(実験報告書、ノート、プリント) 宿題 授業態度 夏休みの課題 			
		2											
		3											
		4											
	5	5	「生命」植物のくらしとなかま	◇植物とはどんな生物だろう 1章 花のつくりとはたらき ・花のつくりとはたらきを調べてみよう ・マツにはどのような花が咲くのだろうか	1 4	いろいろな花のつくりを観察し、基本的なつくりを理解する。	① ② ③ ④	身近な植物を注意して観察すると、共通するつくりや相違するつくりが気づくはず。生物の体のはたらきに、無駄なものはないのです。	植物				
		6		2章 根や茎のつくりとはたらき ・根のつくりとはたらきはどのようにになっているのだろうか ・茎のつくりとはたらきはどのようにになっているのだろうか	3	根や茎の切片をつくり、様子を観察し、水の移動を中心に植物のつくりとはたらきについて総合的に理解する。	① ② ③ ④	根から最上部の葉まで水や養分が運ばれていることを再確認し、物質が移動するつくりが植物全体にあることに気づく。	植物				
		7		3章 葉のつくりとはたらき 前期中間テスト ・葉のつくりはどのようにになっているのだろうか ・植物はどのようにして栄養分をつくるのだろうか	9	葉のつくりを観察し、植物の栄養分のつくり方や呼吸の仕方、気体の出入りを理解する。	① ② ③ ④	葉のつくりを観察すると、植物は動物と同じはたらきをしていることにも気づくはず。	植物				
		8											
	6	9											
		10											
		11											
	12												
	7	13											
		14											
		15	「エネルギー」光・音・力による現象	◇光がつくる不思議な世界 1章 光による現象 ・光にはどんな性質があるのだろうか ・なぜものが見えたり見えなかったりするのだろうか ・凸レンズはどのようなはたらきをするのだろうか	1 9	光の反射、屈折の実験から、その規則性を見いだす。 凸レンズの働きを実験で確かめ、物体の位置と像の位置によって見える像のちがいに気づく。	① ② ③	光は手にとることはできません。でも、私たちににとってとても身近な現象のひとつです。しっかり実験し、考えを深めましょう。 光に関わる不思議な現象が、実験結果をもとに説明できることに気づく。	鏡 グループ実験				
		16											
	9	17		2章 音による現象 ・音にはどんな性質があるのだろうか ・音はどのようにして伝わるのだろうか	5	音の実験から、音はものが振動することによって生じ、空気中を伝わること、音の高さと発音体の振動の仕方との関係について理解する。	① ③ ④	音も私たちににとっては身近な現象です。科学的に分析してみると、さらに『音』の世界を知ることができます。	音さ モノコード グループ実験				
		18											
		19		3章 力による現象 ・力にはどんな性質があるのだろうか ・力の大きさはどのようにすればはかれるのだろうか 前期中間テスト ・力はどうして表すのだろうか ・なぜ紙コップはつぶれないのだろうか ・水中で物体にはどのような力がはたらくのだろうか	12	物体に力が働くとき、物体がどのような状態になるかを観察や実験から理解する。圧力の実験からそのきまりを理解し、大気圧・水圧へと発展させて考える。	② ④	力の世界も、目で見えるよう「→」で表します。まず、それをしっかり理解しよう。そして、いろいろな場合について考えてみよう。	アルミ缶 グループ実験				
	10	20											
		21											
		22											
	後期	11		23									
				24	「物質」身のまわりの物質	◇わたしたちの身のまわりのいろいろなもの 1章 いろいろな物質とその性質 ・物質はどのようにして区別できるのだろうか ・重さや体積で物質を区別できるだろうか	1 8	身のまわりの物質を調べ、密度などの性質について考えるとともに、実験器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付ける。	① ③ ④		身近な物質の性質を科学的に調べよう。まずは、実験器具を使いこなせるようになろう。そして、学習内容はきちんと理解して覚えよう。	ガスバーナーなど グループ実験	中間テスト 期末テスト 提出物(実験報告書、ノート、プリント) 宿題 授業態度 冬休みの課題
25													
26													
27		2章 いろいろな気体とその性質 ・気体はどのようにして区別できるのだろうか ・身のまわりのものから発生した気体を区別しよう	5	気体の実験から、その特徴を理解し、実験技能を身に付ける。		① ③ ④	身のまわりの気体を、実験を正しくそして安全に行い発生させてみよう！	リトマス紙など グループ実験					
28													
12		29	3章 水溶液の性質 ・物質は水にどのようにとけるのだろうか 後期中間テスト ・水溶液の濃さを表してみよう ・水溶液にとけている物質をどのようにしてとり出すことができるだろうか	6		物質が水に溶ける様子を考察し、水溶液について理解する。	② ③ ④	『水溶液』とは何か。正しく理解しておくことが、まずは大切！難しい言葉を覚えるだけではいけません。モデル図によって、科学的に考察できるようになろう。	BTB液など グループ実験				
		30											
		31											
1		32	4章 物質の状態とその変化 ・物質のすがたはどのように変わるのだろうか ・状態変化と温度にはどのような関係があるのだろうか ・混ざり合った物質を分けるにはどうするか	8		物質は融点、沸点を境に状態変化すること、沸点の違いにより物質の分離ができることを確かめ、科学的に考察する。	① ② ③	『状態変化』について、さまざまな角度から考えます。くり返し復習して、総合的に考えられるようになろう。	エタノールなど グループ実験				
		33											
		34											
2		35	「地球」活きている地球	◇伊豆半島は島だった 1章 大地が火をふく ・火山の形はどうしてちがうのだろうか ・マグマからできた岩石を調べてみよう	1 6	火山を、地下のマグマと関連付けて考え、火山岩と深成岩の観察から、そのつくりの違いをできかたと結びつけて理解する。	① ④	日本にはさまざまな『火山』があります。その特徴をきちんと整理して理解しよう。	火山岩 深成岩				
		36											
		37		2章 大地がゆれる ・地震のゆれはどのように大地を伝わるのだろうか ・地震はどのようにして起こるのだろうか 後期中間テスト	6	地震の記録を基に、その規則性を理解し、地震の原因を地球内部の働きと関連付けて考え、地震に伴う土地の変化の様子を理解する。	① ② ④	『地震』はなぜおこるのか。身近な地震の記録から、そのしくみを理解しよう。自然についてもっと関心をもたなければいけないことを認識しよう。					
3		38											
		39											
		40											
4		41		3章 大地は語る ・大地の語り部、「化石」から学ぼう ・地層はどのようにしてできるのだろうか ・地層をつくる岩石を調べてみよう ・大地の変化を推測しよう ・地球上の大地形はどのようにしてできたのだろうか	8	地層のでき方を理解し、地層をつくる岩石やその中の化石について科学的に考察する。	② ④	大地は長い年月を経て変化します。地球の歴史を探っていこう。	化石				
		42											
	43												
計	44			105	①自然事象への関心・意欲・態度 ②科学的な思考・表現 ③観察・実験の技能 ④自然事象について								

他との関連	
ほとんどの領域の基礎基本	
3年 生物と細胞	
顕微鏡の使い方に慣れよう	
2年 動物 3年 食物連鎖	
1年 生物の観察	
3年 運動と力	
1年 質量	
2年 気象観測	
2年 電流	
	
2年 原子、分子	
3年自然と人間生活	
1年物体にはたらく力	
3年 太陽系の天体	
知識・理解	